



ESC情報



謹賀新年

皆さま、新年あけましておめでとうございます。

この年末年始はカレンダーの並びにより、例年より休みが多くゆっくり過ごされた方も多かったのではないかと思います。また、当番等で休むことができず、業務に当たられた方は本当にお疲れ様でした。また、ありがとうございました。

さて、札幌近郊においては年末年始の天候は比較的穏やかで、ほとんど除雪もすることなく過ごすことができました。積雪もほとんどない状況です。しかし今後は例年並みの積雪になると思われますので、特に出張等で遠方へ行かれる方は、交通情報を確認し、安全に移動するようお願いいたします。

多くの方はこの年始に昨年一年間の反省をもとに、今年一年の目標や計画を立てたのではないのでしょうか。仕事のことであれ、趣味のことであれ、何か一つでも目標を立て、実践し、その結果を評価判定し、次の段階へ進む。もし未達成のところがあればそれを目標の中心に据えて、さらに一步進む方向に計画するのも良いと思います。より良い自分を創るため、少しでも努力をしていきましょう。

「型破り」「形無し」という言葉がこの年末によく目に留まりました。ほとんどの人は意味を知っていると思います。しっかりした「型」を持っている人がそれを発展させて型を破るから「型破り」となり、「型」が無い（若しくは完成されていない）人が型を破ったつもりでも、それは破天荒な「形無し」ということとなります。これは我々技術屋も同じことが言えるのではないかと思います。しっかりした技術をその背景の理論とともに理解し自分のものにしたところに「型」ができることになり、それを基礎にして、これまでの手順の改善や省力化を図ることができると思います。それが無いところで手順の見直しをしたとしてもどこかで破綻をきたしてしまい、「形無し」になってしまうのではないのでしょうか。万一何かで失敗しても、その対応をしっかり行い次にその反省を生かすことでその失敗も意味を成すこととなります。しっかりした「型」を身に着けることは時間のかかることではありますが、一度身に着けると長く生きることとなります。手を抜かず、常に自分を高める努力が必要となります。

当社において一人でも多くの社員がしっかりした「型」を確立し、お客様から信頼を得ることができる仕事をこれまでより多くできるよう努力していくことを期待しています。

一人一人がこれまでよりもよい一年を過ごすことができるようご祈念申し上げます。また、本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



代表取締役 向井 潔

新年明けましておめでとうございます

長い祝日の休暇が続きました。元気で出社、何よりです。この休暇を如何過ごしましたか。長い人生の中の貴重な日々でした。

若い人の中には体を動かして体力増進と貴重な思い出に活用した人もいたでしょう。又読書して、勉強、実力を向上するのも若いときの貴重な時間活用です。

会社としては49年経過して来年は創立50年、半世紀を迎えます。この間、厳しい年の連続でした。

しかし社員の皆様の努力とおお客様の支援を賜り、今日まで経営を続けることが出来ました。



取締役相談役 向井 隆

この間、大きな経済変動や面倒な事柄もありましたが、なんとかやっとなり越えたものもあり、勉強になりました。

将来の方針についてはこれから一年掛けて皆様の提案も聴きながら年末までにまとめたいと思っています。

当面、今年についてはなんと言っても【安全第一】です。怪我をしない事です。仕事、職場での怪我は先ず【交通事故】、お互いに注意しましょう。職場での予想外の偶然に発生する事故は社員全員で応援して回復するように努めましょう。

個人的な事故も可能な限り、社員で応援しましょう。いずれにしても事故は極力早く誰かに連絡して皆で対処しましょう。

事故の発生の連絡を受けた方は社内の上司に連絡して最善を尽くしましょう。

只、応援するにも連絡するための携帯電話など通信機器の携帯は是非必要です。また、応援が来るまでは自分で対処が必要です。

従って個人でも必要最小限の準備はしておくこと。例えば車にはシャベル、部屋にはロープ、軍手、タオル、その他に非常食や水、傷薬などの応急に必要な品は自分で用意し何時でも活用出来るように整備しておきましょう。

転ばぬ先の杖として準備し、今年も大過なく良い一年を無事に過ごし良い年にしたく存じます。一緒に頑張ろう!!!!!!





令和2年始動いたします！

令和2年の始まりを社員一同無事に迎えることができました。

本年もこの顔ぶれで、お客様に満足いただける製品やサービスを提供していく所存です。
全社一丸となって頑張ってみります。どうぞ本年も宜しくお願い申し上げます。



社 是

社 是

- 一、当社は、北海道の電力から電子まで電気全般の技術サービスを行い北海道の文化の向上と発展に貢献します。
- 一、技術サービスを通じ顧客の要望に応えることは勿論、私共の技術分野で提言を惜しまず顧客の立場を理解したサービスを行います。
- 一、北海道の自然の条件を活用し、日本で最も文化水準の高い住みよい環境作りに努めます。
- 一、私共は、北海道で生活する一員として能力を結集し会社の発展に尽くし、社業の進展を通して豊かな生活を獲得します。
- 一、この目的達成のために教養はもとより、専門分野でプロの自覚と認識によって自己研鑽を積み、日常の仕事に生かします。

年間功労賞

令和元年度は下記の者が成績優秀と認められ、12月27日の納会において年間功労賞を受賞されました。

今後も社員の模範となるよう更なる活躍を期待しております。



最優秀賞功労賞
生産管理課
金平 考由



優秀賞功労賞
営業部
藤根 香緒里



優秀賞功労賞
第1技術部
電力システム課
皆川 貴弘



優秀賞功労賞
生産管理課
木田 綾子

資格取得者

令和元年度は下記の者が新たに資格を取得いたしました。

取得した資格を業務に活かしていきましょう。また、資格取得を目指す社員の指導も行い、有資格者を増やしていきましょう。

資格名	氏 名
1 級電気機器組立て技能士	山本嵩純
2 級電気機器組立て技能士	山口優・大谷剣司・高村和樹・永金良則・手島 瞬 福田 瞬・菊地佑紀・小野寺裕太・畑山洸平 中原亮太・江藤美幸・棟方淳貴・南 宏輝
2 級配電制御システム検査技能士	小島 涼・皆川貴弘・江藤美幸・大橋雅浩 大谷剣司・中原亮太・小野寺裕太
第一種電気工事士	今熊僚一・手島 瞬・金平考由・松木将大
1 級電気製図技能士	工藤拓二
2 級電気製図技能士	小島 涼・渡邊健斗・江藤美幸
日本商工会議所簿記検定試験 1 級	小林正幸
建設業経理事務士 1 級	小林正幸
2 級ファイナンシャルプランニング技能士	鳥居みのり



年末講演会



昨年12月20日に安全衛生委員会主催の年末講演会が行われました。

午前の部は、日本産業カウンセラー協会から認定講師の山村弘美様をお迎えし『マインドフルネスの理解と実践』を指導していただきました。

研修の目的としては、マインドフルネスを体験的に理解し日常の心の健康づくりに活かすことを目的とし指導していただきました。

マインドフルネスとは“いま、この瞬間の体験に、意図的に意識を向け、評価をせずに、とらわれのない状態で、ただ観ること”とあり、精神的な効果として、集中力が高まる、ストレスが軽減するなどの効果が期待されます。

今回は、マインドフルネス瞑想を学びました。背筋を伸ばし身体力を抜き、呼吸に伴う体の動きに注意を向け、ゆったりとした呼吸とおなかや胸に注意を向け膨らみやちぢみの感覚をそのまま感じ取ることを教わりました。

1時間30分ほどの講義やマインドフルネス瞑想を終えるころには、心や体が落ち着いた感覚になり身体の心地よさを感じました。



午後の部は、一般社団法人 日本自動車連盟（JAF）札幌支部 事業課長 鈴木様をお迎えし、『冬道に対する交通安全について』と題して下記内容の講話を行っていただきました。

- ・北海道内の交通事故状況
- ・車両の事故状況について
- ・運転の危険予知
- ・ながら運転（厳罰化）

当社の技術系メンバーは、現場作業を安全に施工するため「危険予知」の訓練を受けていますが、この危険予知訓練は車両運転にも通じる訓練であると感じました。各位運転中は常に危険予知能力を発揮してほしいと願います。

また、12月1日より「ながら運転」の厳罰化が施行されました。ながら運転が原因の事故は、1回で免許停止になるという厳しい罰則になりましたので、運転中には携帯電話が鳴っても出ない様にしてください。（安全な場所に停車して折り返し電話をかけなおす事）

プライベートはもとより業務上運転をする機会は皆様多くあるかと思えます。

一人一人の安全運転の意識で悲惨な交通事故を無くしていければと思います。

安全衛生委員会



編集後記

新年あけましておめでとうございます。

2019年を振り返ると、第二子が誕生した、禁煙に成功したなど私にとっては何かとハッピーな一年でした。皆様にとってはどのような一年でしたでしょうか。

さて、今年は2020年、東京オリンピックの年です。マラソン・競歩の開催地が札幌に決まったことで少し身近に感じることができ、大変喜ばしいことと思っています。ただ、その陰で開催地変更に伴うコースの選定やコースの整備等、手間や費用が発生することもお知らせする必要があります。開催地が札幌になったことで札幌在住の方々はさぞ大喜びかと思いきや、人によっては迷惑であったり、不満に感じている方もいるかも知れません。

見方や立場が変われば同じ事象であっても感じ方は人それぞれ変わります。今シーズンの降雪・積雪もその一例です。例年に比べて非常に雪が少ないですが、これにより「除雪の回数が減り嬉しい」、「道路が走りやすく助かる」、と多くの方はプラスの印象を抱くと思いますが、スキー場やさっぽろ雪まつりの運営に携わる方々にとっては厳しい状況にあると思います。

このように、誰かにとっては幸福であってもその裏では不幸を被る方がいることはたくさんあると思います。私自身、営業職に身を置く者として、受注者、時には発注者として立場の違う相手と日々交渉を行っていますが、お客様と当社の両者とも幸福を得るような100点満点の結論を導き出すことは非常に困難です。ですが、限りなく満点に近づけるよう努力を惜しまず、満点ではなくとも両者が納得できるような落としどころを日々探りながら業務にあたっています。

オリンピックにあやかり2020年は何か大きなことを成し遂げたいと考えつつも、これといった目標が未だ決まらない私ですが、少しでも皆さまの笑顔に繋がるよう日々努力してまいります。

最後に、2020年が皆様にとって良い一年となりますこと、心よりお祈り申し上げます。

営業部 田村 友一


ESC 情報NO. 152 新春号



発行所 北海道電気技術サービス株式会社

〒069-0832

北海道江別市西野幌120-8

TEL(011)384-8888 FAX(011)384-8889

<http://www.hesc.co.jp/> e-mail:hesc@hesc.co.jp

発行者 向井 隆

編集者 総務課